

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズサポートlien				公表日	R8年 2月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動療育施設であるため、十分なスペースが確保されている。	机上活動や自由時間の過ごし方で環境の区別が難しい。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別で対応できるように余裕をもって配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		絵カードを貼り児童が視覚的に次の行動ができるようにしている。	ビルの2Fにあり、構造上車椅子等の対応が難しい。事前に伝えていく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		体調不良車や情緒的な面など必要に応じて個別で対応している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日活動の振り返りを行ない、次回の活動やモニタリングに反映している。	日によっての目標設定など事前に把握できていないこともあるため、事前に共有しておく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		公式LINEを用いて、皆様にしつかりアンケートをお配りしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日、活動の振り返りを行ない、業務改善や効率化などの話を出来る時間を設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に外部から言語聴覚士や理学療法士をお呼びして支援内容の評価、改善をさせていただいている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		zoomなどの研修の情報を共有し、それを受講したり、外部の方に専門的な研修をして頂いている。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		契約時、モニタリング時に聞き取りを行い、それぞれのお子様に合わせてプログラムが適切に作成されている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		担当者会議を行い、職員と共有の場を設けている。	日々の送迎の際に、お子様の様子を共有し、よりそれぞれのご家庭に沿った支援計画を作成していきたい。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング等で保護者と話し合った内容や、今後の支援について振り返りを行ない職員間で共有している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員が閲覧しやすい場所に配置している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化された評価も行いながらコミュニケーションを取る中でインフォーマルな面も共有し合っている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援の他、地域交流等企画し支援を行っている。	利用時間等の関係により、全般に地域交流ができなかった。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当の職員が、プログラムを作成しているが、最終的に他職員からの意見も取り入れて立案している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		各曜日の児童の関わりや年齢等も考え、毎月活動プログラムを作成している。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		活動の時間では集団活動を行っているが、勉強の時間等では個別の時間も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の活動は、事前に職員に伝えて補助の有無や、支援内容について他職員の意見も取り入れている。	内容や役割を話し合っ活動を行っているが送迎などで全ての職員に共有できない日もあったため、改善が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		放課後等デイサービスでは次の日の昼頃に振り返りを行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動での様子や、自由遊びでの様子、お友達との関わり方など気付いた点や今後の支援について改善すべき点など記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行なっている。また家庭での様子や学校での様子も保護者と話し合う機会を設けている。	モニタリング日のお伺い連絡を出来るだけ早くお聞きしもっと円滑に進められるようにしたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		参加する職員は固定化される事もあるが、理解したものが参加している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で、自分のやりたい事や、挑戦したい事について自分で考え選択をする機会も設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加している。	その他機関との連携が少ない為、さらに支援内容などの情報共有を行う場を設ける必要がある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時間等は保護者からの連絡をお願いしている。保護者が対応できない際に学校へ連絡を行い確認をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現状実施なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		年に2回ほど児童クラブとの合同での活動や、他事業所、地域スポーツクラブとも関わる機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の際に保護者に本日の様子を伝えたり、SNSにて写真や動画等も伝え課題について考える時間を設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		年度末に保護者と話し合うための保護者会を計画している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約をする際に保護者に伝え、書面でも通達している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的にモニタリングを行なっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリングにて保護者と課題について考え、計画書を作ったのちに、再確認をお願いしている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様が希望される際に電話や事業所にて面談の機会を設けている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		月に2回程度、イベントを行ない保護者も参加できるイベントや兄弟での参加も可能なイベントも行っている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		自事業所だけでなく、他事業所や併用事業所とも連携し日頃の業務の改善に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPに確認できるように掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報になる写真などのSNSでの、取り扱いや使用しない書類などはシュレッダーにかけるなど十分に留意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		モニタリングの際に保護者様の悩み事等を聞き、助言することが出来そうなときには提案するときもある。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		土曜日イベント等で、保護者も参加出来たり、兄弟も参加できるようなイベントとも企画することが出来てきている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		災害等緊急時の避難訓練を実施している。職員への共有、理解も出来ている。	毎月HPに掲載している活動予定表の中に一緒に明記し、活動で訓練を行なった際、参加した児童の保護者様だけでなく、ご契約者様全員が確認できるようSNSを通してお伝えしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーについて共有を行なっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人全体で安全委員会の設置や年間の防災訓練計画を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事象が起きた際にその日のうちに、ヒヤリハットを共有、記録している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し研修も行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現状実施なし。		